

第1次総社市地域福祉計画（素案） に対するパブリックコメントのまとめ

意見の概要		パブリック コメント用 計画（案）対応 ページ	市の考え方
1	<p>重症心身障害児、医療的ケア児の数が分かりません。難しいかも知れませんが、現状把握が極めて重要な分野だと思いますので、集計できる方法を考えて考えて頂きたいです。</p>	3章 22ページ	<p>現在、総社市障がい児福祉計画に基づき、総社市自立支援協議会内に「医療的ケア児支援体制検討プロジェクトチーム」を設置しており、その中で実態把握について引き続き検討してまいります。</p>
2	<p>重症心身障害児、医療的ケア児が利用する通所施設への補助をお願いいたします。</p> <p>京都市の例ですが、重症心身障害児の受入1名当たり日額単価1,100円が補助されています。</p> <p>必要な人員が一般の通所施設と比べ非常に多いため、経営を圧迫しています。重症心身障害児、医療的ケア児の日中の居場所を安定的に確保する為にも、補助をお願いしたいと思います。</p>	4章 47ページ	<p>重症心身障害児、医療的ケア児が利用する通所施設への補助については、現段階では行う予定はございません。</p>
3	<p>【障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、地域生活支援拠点として、24時間対応できる緊急時の迅速・確実な相談支援、事業所の受け入れ体制を整備・活用します。】</p> <p>とされていますが、重症心身障害児、医療的ケア児の親亡き後、総社市で引き続き安心して生活できるためのグループホーム、シェアハウスを創って頂きたいです。</p> <p>全国的に重症心身障害児者の高齢化への対策急がれています。</p> <p>総社市としても検討をお願いしたいと思います。</p>	4章 47ページ	<p>総社市障がい福祉計画に基づき、総社市の地域生活拠点としては、総社市自立支援協議会のネットワークを生かし相談機能や緊急時の受け入れ・対応等を進めているところであり、こうした中で引き続き高齢化への対応について検討してまいります。</p>